

校長先生の日記⑬

気が付けば、もう10月の最終日となってしまいました。充実して、楽しい時間は、あっという間に過ぎていきます。きっと10月は、子どもたちにとっても、私たち教員にとってもそんな月だったのだと思います。



クラブ活動が終了

地域のみなさんを講師に6回行われたクラブが終了しました。地域のみなさんの熱い指導のおかげで、自分のやりたいことをとことん楽しむことができました。「まだ やりたい」「もっとやりたい」という子どもたちの主体的な気持ちが生まれるクラブ活動を、来年度はさらに充実させたいと思います。



一人一研究がんばりました！ 夏休みに取り組んだ一人一研究の賞状を渡しました。渡す際に研究について聞いてみると、だれもが自信をもって自分の研究について語ってくれました。「苔はかわいい。ぼく苔が大好き！」といえるって本当に素敵だなと思いました。自分の好きやはてな「？」をとことん追究する機会を大事にしたいです。



全校でいもほり 6月に全校で一人1本植えたサツマイモが、収穫の時期を迎えました。今年は、天候も安定しており、サツマイモの成長は順調で、大豊作でした。全校で掘るのは難しかったので、2日間に分けて掘りました。「これは大きいぞ」と小さな手で掘っていると、大きな手が手伝って、予想通り大きな芋が出てきた時の嬉しそうな顔！信濃小中ならではの風景です。320kgのお芋を、学年ごと焼き芋にしたり、生徒会の発案で、地域の施設や寄付をいただいた施設にプレゼントしたりしました。もちろん給食でも調理していただきます。どんなメニューになって出てくるか今からとっても楽しみです。



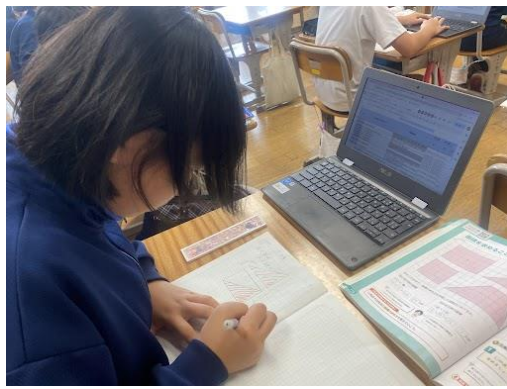
教育課程研究協議会 国語

今年度本校では、先生方が一堂に介して学ぶ協議会の会場校となっていました。4年生と8年生が国語の授業を公開してくれました。これからの新しい学び方を先進的に進めている本校の様子をみていただく機会となりました。

また、参会された先生方にも、タブレットでの研修をためしていただき、子どもたちの様子をリアルタイムで共有できるよさや、それが記録されていって、それだけで授業記録を共同制作していることになるよさについても実感していただきました。何より、子どもたちはいつも通り、まったく「待つ」ことのない、充実した1時間を過ごし、成果を上げることができたことがよかったです。

「学校づくりを考える日」が行われました！ 10月24日

本校では、10月に保護者や地域の方々に学校に開放する「学校づくりを考える日」を行っています。日頃からお世話になっている保護者や地域の方々に、学校ではどんな授業をやっているのか？子どもたちの様子はどうかなど、幅広くみなさんに公開し、ご指導をいただいたり、ともに子どもたちと語り合っていたりしています。今年度も10月24日に行われました。



2時間目は授業参観でした。1年生は自分たちで育てたサツマイモを使ってカップケーキを作っていました。1年生でもちゃんとお料理ができますね！5年生は、教科書、タブレットを使いこなし、自分の考えた方法で、算数の図形の問題に取り組んでいました。9年生の理科では、仕事量について、ボールの重さを比較しながら、生徒同士考えを伝え合っていました。どの教室もそれぞれの先生の個性があふれ、教える授業ではなく、主体的に取り組む授業になってきていると感じました。何より、本校では「体験」を大切にしているところがさらにいいなと感じます。バランスのよい授業をさらに確立していきたいです。



3時間目は、全校集会を参観していや参加していただきました。全校集会は、信濃小中学校の自慢です。秋桜祭でなかよくなった「ゴジラ」が登場し、ほちゃと本を作って、読み聞かせをしてくれました。学校では現在読書旬間ということで、本に親しんでほしいという願いをもった集会でした。ほ本の題名と同じ数の人数でグループをつくるゲームをして、いろいろな学年の仲間と交流を深めました。それにしても、9年生のこの企画力、推進力はすごいと思います。



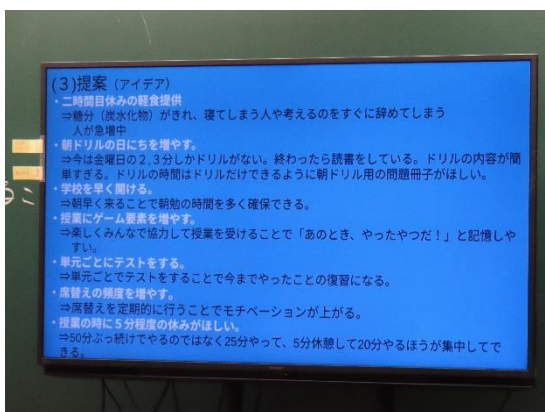
信州大学教育学部

佐藤 和紀 准教授の講演

午後は、年間を通してご指導いただいている、信州大学の佐藤先生からご講演をいただきました。演題は「ものの見方と深い学び」です。本校の課題でもある表現力にも触れながら、子どもたちに

分かりやすいようにお話いただきました。保護者、地域のみなさんも一緒に講演を聞くことができました。これから学校がめざす子どもたちの姿について、共有することができました。

佐藤先生からは「深く学ぶためには、ものをよく見る必要がある。しかし、その見方は、自分の得意な偏った見方になることがあるので、多角的に見る必要がある。その方法として、自分で考えるだけでなく、仲間や先生にヒントをもらう方法がある。そんな学びをしていってほしい」というお話と、表現するということについて、「よく見ると話せる。見方を変えると見えるものがある。そうやって深く学んでいくとよく話せるようになる。自分で長く話せるレベルはかなり（学びの）レベルがかなり高い」とお話いただきました。子どもたちは表現できないのではない、表現できるまで、表現したくなるまで深く学んでいないのだということを、私たちに教えてくださいました。思わず「表現したくなる」深い学びをめざして、また子どもたち、先生方と一緒に取り組んでいきたいと思えます。



講演会の後は、8年生による提案と、地域のみなさんによる懇談会でした。8年生からは、学校をもっとよくしたい提案や、学力をあげるための提案、地域とのつながりをさらに深めたい提案がなされました。それをもとに、地域のみなさんや先生方と意見交換をしました。地域のみなさんが考える連携について意見を交換したり、もっと来たくなる学校について夢を語ったりすることができました。8年生が学校のことをしっかり考えていてくれることに驚くとともに、これまでを深く反省しました。もっと子どもたちの思いに耳を傾け、その思いを実現できるような学校づくりをしなくてはいけなかったと、申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

来年度は、ぜひ子どもたちの思いを実現できる学校づくりに取り組んでいきたいと思えます。



11月に入ってもあたたかな日が続いています。収穫したお芋を焼き芋にして食べたり、もちもちの実を粉にして蒸しパンにして食べたり、ポップコーンの香ばしい香りが廊下に漂っていたり、厳しい冬の前の、穏やかな毎日です。後期課程はテストや受験、前期課程は2学期のまとめと忙しくなります。ひと時の幸せを子どもたちも先生たちも一緒に味わっています！

本校の焼き芋は庁務の先生のスペシャルな方法で焼きます。もみ殻を6時から焚いて、おきにして、芋を入れると、じわじわ焼けて、中は甘ーくなります！

